

私が創る自然浴

取付説明書－スカイエール塗り仕上げ－

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 私が創る自然浴本体の施工は、「私が創る自然浴－スカイエール－(E158)」で施工してください。
- 私が創る自然浴収納庫の施工は、「私が創る自然浴－収納庫－(E182)」で施工してください。
- 私が創る自然浴SA柱・アルミ柱の施工は、「私が創る自然浴－SA柱・アルミ柱－(E179)」で施工してください。
- 施工手順は、下記の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 表面仕上げ材は「可とう型外装用薄付塗材E」に分類される弊社推奨塗料を使用してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
柱の建て込み、桁、幕板、腰壁	・私が創る自然浴－スカイエール－	E158
梁用屋根部品の組付け	・私が創る自然浴－スカイエール梁用屋根部品－	E159
梁の取付け	・私が創る自然浴－スカイエール－	E158
壁用屋根部品の取付け、屋根の仮組み	・私が創る自然浴－スカイエール壁用屋根部品－	E160
壁の基礎コンクリート打設、壁の組付け	・私が創る自然浴－スカイエール－	E158
収納庫の組立て	・私が創る自然浴－収納庫－	E182
表面仕上げ	・私が創る自然浴－スカイエール塗り仕上げ－	E181

取付説明書区分表つづき

SA柱施工手順	使用する取付説明書	取説コード
柱の建て込み、幕板B、梁スリーブ	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
梁用屋根部品の組付け	・私が創る自然浴 ースカイエール梁用屋根部品ー	E159
梁の取付け、梁カバー、梁掛け部品	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
柱キャップ、ウッド調幕板Bパネル 基礎コンクリート打設、	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
表面仕上げ	・私が創る自然浴 ースカイエール塗り仕上げー	E181


<施工上のご注意>

⚠ 注意



- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- SAボードに水打ちをしないでください。SAボードを水で濡らすと変形やクラックの原因になります。
- 施工中に湿度85%以上になる環境での施工は、絶対に止めてください。湿度の高い状態での塗布は、塗膜のふくれやはく離の原因になります。
- 作業中に使うコテ、器は、サビ・鉄分が出ないものを使ってください。鉄粉が塗膜に混じるとサビが塗膜表面に浮き出ることがあります。
- 外気温が5℃以下の塗布は、絶対に止めてください。乾燥が極端に遅くなり、塗膜が硬化しません。
- 外気温が5℃付近で塗布は、養生シートやヒーターを使って塗布面を5℃以上に保ってください。
- 表面仕上げ材の使用および保管については、各推奨仕上げ材の注意事項に従ってください。

■ 梱包明細表

① ジョイントテープ

名 称	略 図	員 数
ジョイントテープ		1

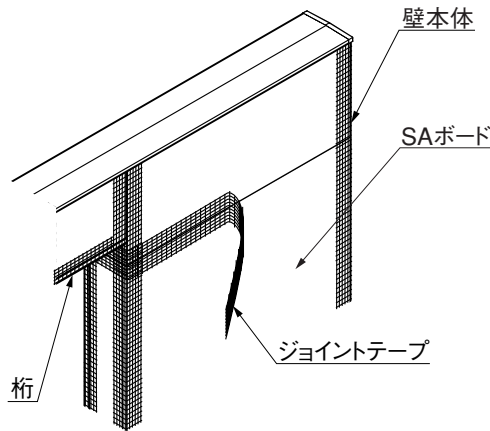
② 下地調整材

名 称	略 図	員 数
主材		1
硬化材		1

※スカイール取付説明書 (E158)「3.16現場張りボードの取付け」、SA柱・アルミ柱 (E179)「3.9基礎部コンクリートの打設」の後に行なう表面仕上げ材の塗布作業です。
 ※収納庫取付説明書 (E182)「6.表面仕上げ」の表面仕上げ材の塗布作業です。

1. 板間の処理、塗り仕上げ

1-1 ジョイントテープの貼付け



ポイント

- SAボード表面がぬれていないことを確認してください。

- ① ジョイントテープをSAボードのつなぎ部分に貼付けてください。

ポイント

- ジョイントテープが盛上ったり、しわが発生しないように注意してください。

1-2 下地調整材の混合 ※下地調整材は、主材と硬化剤を混合してから2時間以内に使い切ってください。

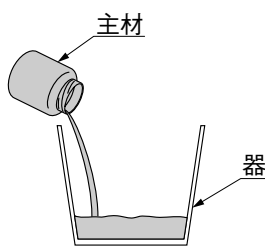


図1-1

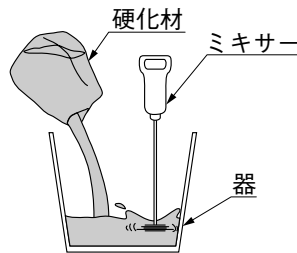
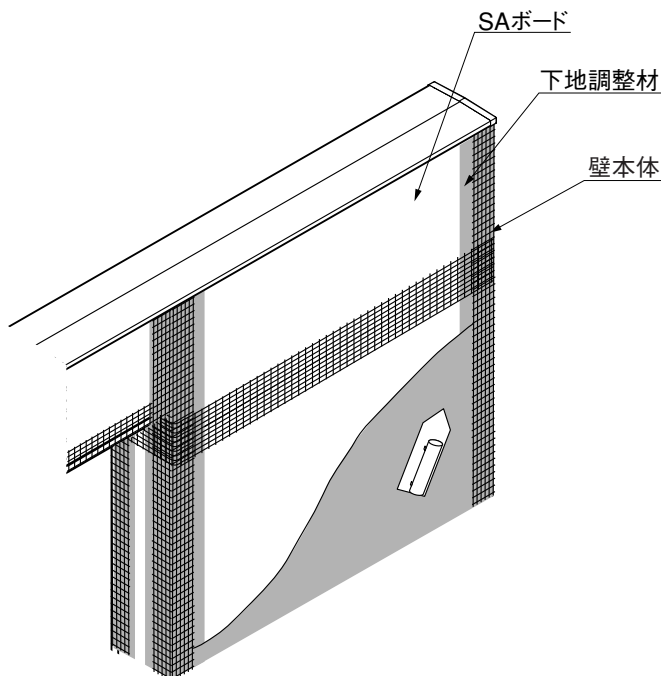


図1-2

- ① 主材を器に入れてください。(図1-1参照)

- ② 硬化材を器に入れながら、ミキサーでよく混合してください。(図1-2参照)

1-3 下地調整材の塗込み



- ① ジョイントテープの上から下地調整材を塗込んでください。

ポイント

- SAボードのつなぎ部分の溝を埋めるように下地調整材を塗込んでください。

- ② SAボード全体に下地調整材を塗ってください。

ポイント

- 下地調整材は塗厚2mmを目安に、規格量を残さず塗りきるようにしてください。

補足

- 塗布後、水をきった刷毛で仕上げるときれいに仕上がります。

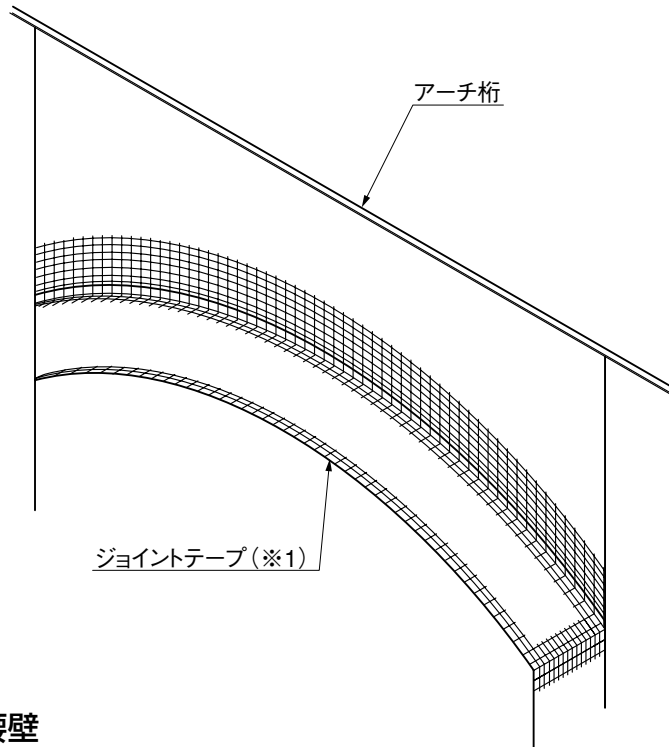
- ③ 下地調整材の塗布後、6時間以上養生してください。

- ④ 凹凸が大きくなった場合は、ヤスリやヘラを使って下地調整材表面をフラットにしてください。

1. つづき

1-4 ジョイントテープの二重貼り

(1) アーチ桁



ポイント

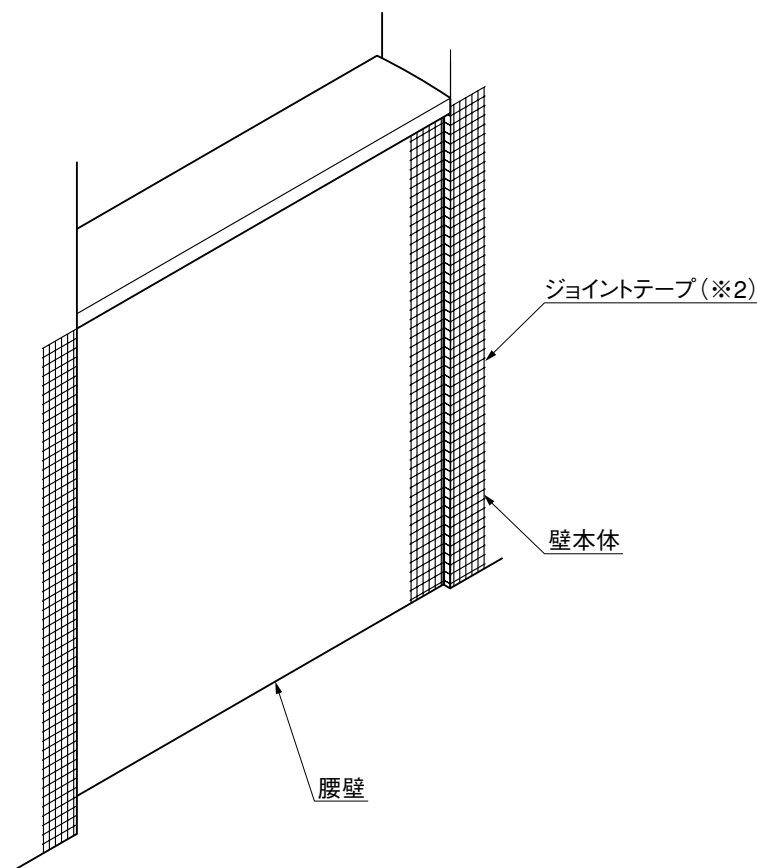
- ジョイントテープ(※1)の貼付けは下地調整材養生後に行なってください。

- ① アーチ桁の下部のSAボードのつなぎ部分にジョイントテープ(※1)を貼付けてください。

ポイント

- ジョイントテープ(※1)が盛上ったり、しわが発生しないように注意してください。

(2) 腰壁



ポイント

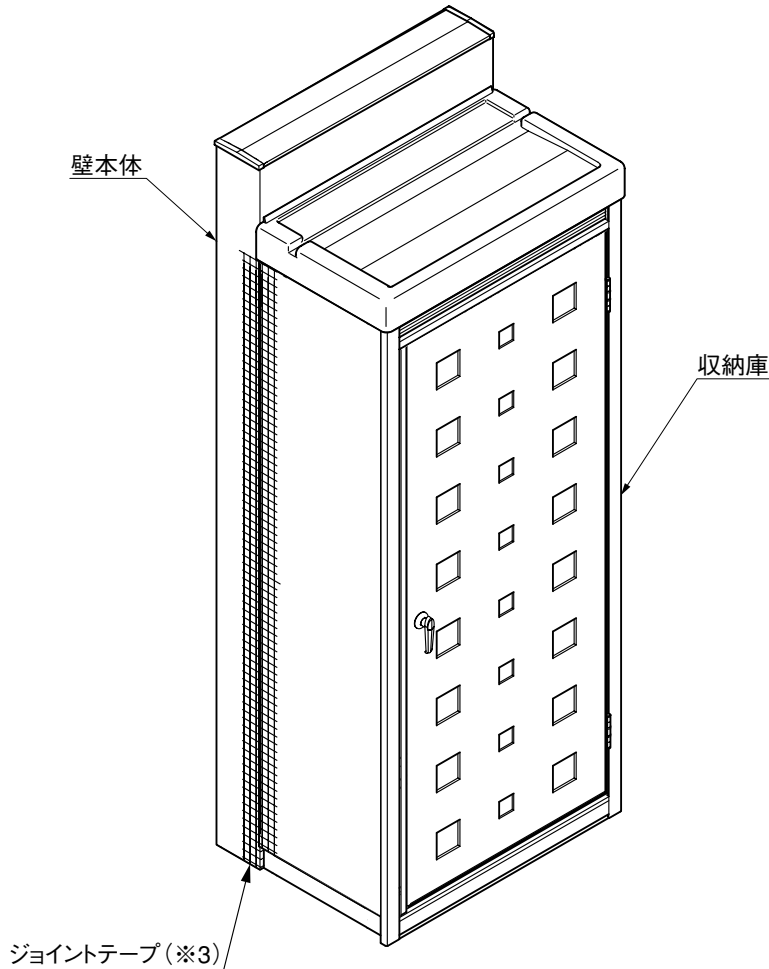
- ジョイントテープ(※2)の貼付けは下地調整材養生後に行なってください。

- ① 腰壁と壁本体のつなぎ部分にジョイントテープ(※2)を貼付けてください。

ポイント

- ジョイントテープ(※2)が盛上ったり、しわが発生しないように注意してください。

(3) 収納庫



ポイント

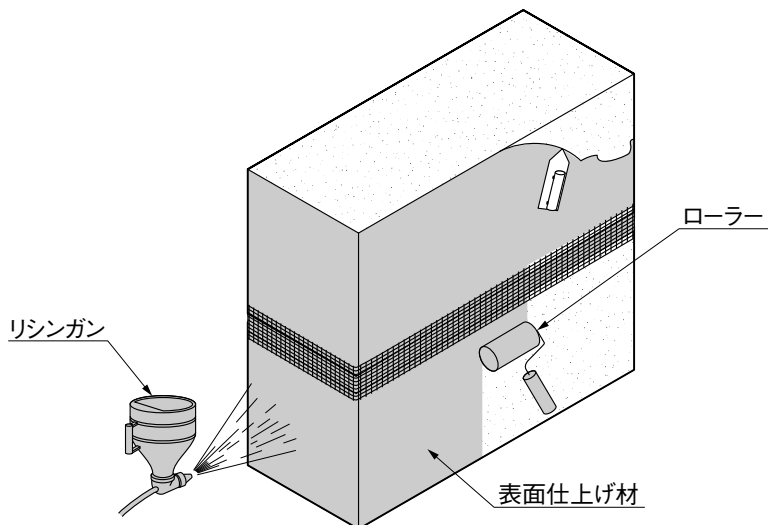
- ジョイントテープ(※3)の貼付けは下地調整材養生後に行なってください。

- ① 収納庫と壁本体のつなぎ部分にジョイントテープ(※3)を貼付けてください。

ポイント

- ジョイントテープ(※3)が盛上ったり、しわが発生しないように注意してください。

1-5 表面仕上げ材の下塗り



- ① 表面仕上げ材をコテおよびリシンガンやローラー等で下塗りを行なってください。

ポイント

- 表面を平滑に仕上げる場合には、下塗りを2回行うことをお勧めします。
- 配合や塗装方法は使用する塗材の説明書にしたがってください。

1. つづき

1-6 表面仕上げ材の上塗り ※下塗り後の上塗工程の間隔は、2時間以上あけてください。

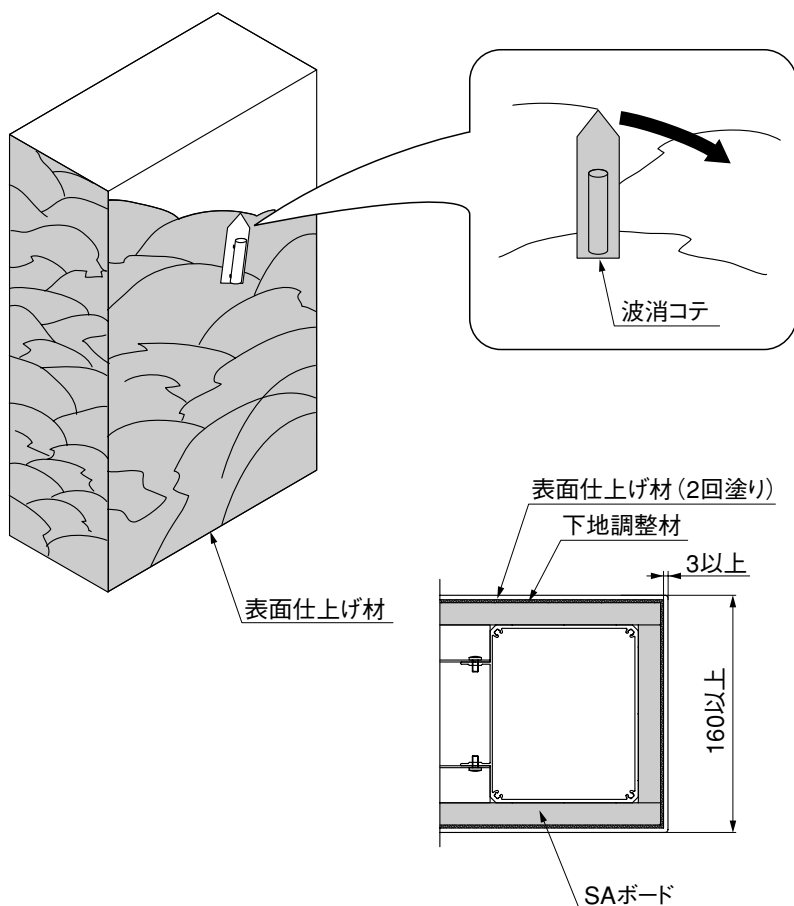


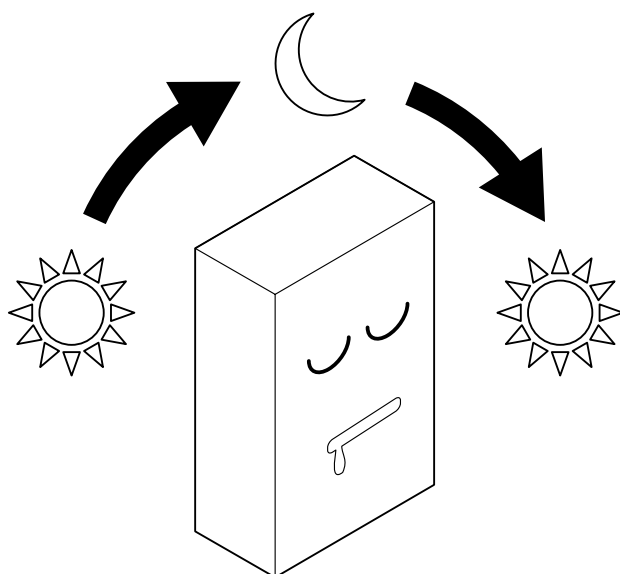
図1-3

① 表面仕上げ材の上塗りを行なってください。

ポイント

- 表面仕上げ材の最終厚みは3mm以上で壁厚が160mm以上になるように仕上げてください。
- 塗り厚が薄いとクラック等の発生につながります。(図1-3参照)

1-7 養生



① 表面仕上げ材を塗布した後は、24時間以上養生してください。

ポイント

- 養生中に、雨や露がかからないようにしてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

IIDEX